

れいわ新選組 わかさとみひろの



柏市議会の舞台裏から

令和8年3月 市議会レポート VOL.11

今議会では、**田中近隣センター**と**柏ビレジ近隣センター**が抱える問題、そして「居心地のよい公園プロジェクト」として計上された5,000万円の予算について取り上げました。きっかけは、市民の方から「柏ビレジ近隣センターのテニスコートが破損して危ないのに、なかなか直らない」と相談を受けた事です。現地を確認すると、そこだけでなく**建物全体に危険と思われる箇所**が見受けられました。同様の問題が他の施設にもあるのではないかと考え、市内全23館を調査しました。その中で見えてきたのは、現場の状況を把握しながらも、予算や仕組みの壁により十分な対応ができない実態です。さらに、**現場の修繕よりも計画策定にお金**が優先されていることも明らかとなり、改善を求めました。



初めから 0:00 ~
1問1答の質疑 33:30 ~



今回の一般質問の動画はコチラ↑

未だ辿り着けない **市の本音** **田中近隣センター** **柏ビレジ近隣センター**

田中近隣センター 木片が落ちる体育室



議会後に修繕は実施されました！

田中近隣センター体育室では、壁の板が大きく裂けてめくれ上がり、内部が露出している状態が**昨年8月から**続いています。実際に**木片が落下した**ため「上から木片が落ちて危険です」と注意書きを掲示して対応しています。玄関の壁は雨の日には水がしみ出てくる状況も確認されました。ステージ裏の壁は湿気でふよふよになり、天井鉄骨の塗装も剥がれ落ちてきます。ここは避難所にも指定され、**田中中学校の部活動でも**日常的に使われています。現場ではこの状況を本庁の担当課に報告し、修繕の必要性も伝えていましたが、予算や仕組みの問題で対応が半年過ぎても進まない状況でした。



市は田中近隣センターの状況を**以前から把握していたと**答弁しました。一方で、近隣センターの修繕費は1館あたり**年間約20万円程度**に限られ、不足分は年度末の配当替で調整される仕組みになっており、必要な修繕がすぐに実行されにくい構造があります。田中地域は人口増加が著しく、さらに出張所業務に加え、柏ビレジ、北部の3館分の施設管理まで担っています。現場では、**修繕対応まで手が回らないほど業務が集中している**実態も明らかになりました。危険箇所を把握しながらも、すぐに改善へ進めない。そこに、今回私が感じた「未だ辿り着けない市の本音」があります。



雨水が染み出る玄関

柏ビレジ近隣センター 地盤沈下はここまで進んでいた！



建物の下に“穴”... 雨水が流れ込む

柏ビレジ近隣センターでは、地盤沈下が進み、図書室側テラスでは石の壁の下に大きな穴が空いていました。入口まわりのタイルも沈み込み、配管がむき出しになっています。地盤沈下により配管が破損し、男性用トイレの小便器は撤去、女性用トイレも一部が使えず、手洗い台も複数が使用禁止です。テニスコート側には仮設トイレが置かれましたが、この状態が7年以上続いています。これは単なる老朽化ではなく、施設の土台そのものに関わる大きな問題です。



崩れたままのテラス



むき出しの配管

このままであと9年使う？ 安全性の検査もないまま

特に問題だと感じたのは、これほどの状態でありながら、安全性について専門的な調査が行われていない事です。議会で確認したところ、市は専門業者への調査依頼はしていないと答弁しました。さらに、柏ビレジ近隣センターは公共施設等総合管理計画で田中近隣センターへの集約を前提に廃止予定とされながら、その時期は第2期から第3期へと10年先送りされました。つまり、今の状態のまま、さらに9年以上は使い続けるということです。そして、その見通しは地域住民に十分に示されていません。こうした状況こそ地域の方にしっかりと説明し、意見を聴いたうえで、今後のあり方を共に考えていくべきではないでしょうか。



“仮設”が7年続くトイレ



ケガ人が出たテニスコート

テニスコートの全面改修を求める

相談のきっかけとなったテニスコートも深刻です。破損箇所は長く放置され、その間にケガ人も出てしまいました。2月によろやく実施された工事も一部の補修に留まりました。業者からは、ほかにも危険箇所があり、今後ますます破損が広がる可能性があるとして指摘されています。しかも市は、将来的にこの場所をスポーツ施設として転用し、継続して使う考えを持っています。にもかかわらず、現状は継ぎはぎの修繕です。ここにも、近隣センターと同じく、修繕費に限られ、必要な対応がすぐ進まない仕組みの問題が表れています。

1300万円！ 計画よりも修繕へ充てるべき！

市は「居心地のよい公園プロジェクト」として5,000万円を計上し、そのうち約1,300万円が外部委託による計画の策定費であることが議会で明らかになりました。もちろん、公園の魅力向上は大切です。しかし、田中近隣センターでは危険箇所の修繕がなかなか進まず、柏ビレジ近隣センターでは安全性の調査すら行われていません。現場で困っていること、危険なことが後回しにされるが、計画づくりに1,300万円の予算がつけられる。この優先順位でよいのでしょうか？ 計画策定に1,300万円をかけるよりも、その分を現場の修繕に充てたほうが、よほど改善につながるのではないかと議会で訴えました。そして計画策定は外部委託に頼るのではなく、まず部内で知恵を出し合うこともできるのではないかと求めました。



「歩く困りごとの窓口」としてお気軽にご相談ください！

柏市議会議員 わかさ ともひろ
会派：市民サイド



お問い合わせ & 若狭朋広を知る

プロフィール

若狭朋広 (52歳)
中2・小6の娘と暮らす
シングルファザー

1973年 秋田県生まれ。柏市花野井在住。

税務署、財務省(旧大蔵省)、劇団主宰、俳優業、広告代理店の営業マン、森の幼稚園事業、ハウスクリーニング、電気工事(ひとり親方)など、経験した職業は19種類。命や人の優しさ、表現することを大切にしています。

☎ 090-1421-9790

わかさとともひろ事務所 柏市花野井720-177
✉ wakasatomohiro50@gmail.com
後援会メンバー募集中です!!

